



# いんぷおめいしよん インフォメーション - INFORMATION -

## 申し込み受付

## 子宮がん検診

58年度の最後の子宮がん検診の申し込み受付を行います。まだの方はこの機会に是非申し込んでください。

日時 2月1日(水)

午前9時～午後4時

場所 保健センターおよび健康管理課

対象 30歳以上の女性

申込み方法 住所・氏名・生年月日・電話番号・世帯主名を受付で記入してください。(返信用切手・封筒・必要事項を記入したものに)

## 受診方法

2月1日～29日の期間に府内および京都市内の指定産婦人科医療機関で受診してください。

費用 500円(70歳以上の方など、費用が免除される場合がありますのでお申し出ください)

お問い合わせ 健康管理課(内線3338)

## ポニーの学校

### 通園児募集

4月からの通園児を募集します。対象は向日市内に住み、言葉が遅れがちであったり、人との関係がうまくもてない、遊べないなど、育ちの上でつまづきや心配

## ご参加ください

### 商業者のための経営講座

市では地元商業者を対象に、経営講座を開催します。ふるってご参加ください。

## 現代女性のためのマナー講座

現代は自由なふるまう部分が多くなりつつありますが、人と人との交わりの社会では、やはり「礼儀作法」が尊重されます。そこで「マナー講座」によって、「心の文化」を身につける

## 障害児教育を 考える集い

### 障害児教育推進の一環として、「第8回向日市障害児教育を考える集い」を開催します。この集いはすべての子供の健全な発達を願い、とりわけ障害児についての正しい理解を深めていただくものです。多数の皆さまのご参加をお待ちしています。

日時 2月20日(月)・27日(月)

午後1時30分～4時

場所 市保健センター

講師 テーマ

○中高年の夫婦のあり方 久米弘子氏(弁護士)

○老後を健康で生き生きとすごすために 小倉美津子氏(仏教大學助教)

## 中高年の健康教室

高齢化社会を目前にひかえ、心身ともに健康な中高年の生き方を考えてみたいと思います。

日時 2月20日(月)・27日(月)

午後1時30分～4時

場所 市保健センター

講師 テーマ

○中高年の夫婦のあり方 久米弘子氏(弁護士)

○老後を健康で生き生きとすごすために 小倉美津子氏(仏教大學助教)

## 無料法律相談

▽とき 2月25日(土) 午前10時～12時

▽ところ 市役所1階市民相談室

▽内容 金銭貸借・土地・財産などの法律問題

▽予約日 23日(木) 午前9時から受付(先着4名・電話でも可)

▽申込み 秘書広報課 内線251

## 予約制

## スポーツ指導者育成講習会

向日市社会体育振興会では各種スポーツ指導者養成のための講習会を開催します。多数ご参加ください。

日時・会場 2月11日(祝) 第3向陽小学校体育館・19日(日) 第4向陽小学校体育館

午前10時～午後3時

内容 初級・中級技術講習会(府卓球協会講師)

## 卓球技術講習会

向日市社会体育振興会では各種スポーツ指導者養成のための講習会を開催します。多数ご参加ください。

日時・会場 2月11日(祝) 第3向陽小学校体育館・19日(日) 第4向陽小学校体育館

午前10時～午後3時

内容 初級・中級技術講習会(府卓球協会講師)

## ソフトボール審判講習会

向日市社会体育振興会では各種スポーツ指導者養成のための講習会を開催します。多数ご参加ください。

日時・会場 2月26日(日) 市民会館

第1会議室で午後6時から9時まで。3月4日(日)第2向陽小学校運動場(雨天・体育館) 午前9時から午後3時まで。

内容 ソフトボール審判

## 2月の行事予定

- 老人福祉センター
- 休日 5日(日)・11日(祝)
- 13日(月)・19日(日)
- 27日(月)
- 2日(木)・16日(木)
- 午後1時30分～3時30分
- ◇独居老人昼食会
- 3日(金)・17日(金)
- 午前11時～午後1時
- ◇老人セーフティクラブ
- 3日(金) 午後2時～3時
- ◇健康相談
- 10日(金)・24日(金)
- 午後2時～3時30分
- ◇高齢者職業相談
- 14日(火) 午前10時～午後4時
- ◇映画会
- 29日(水) 午後1時～3時
- ◇清掃日
- 2日(木) 午前10時30分～11時30分



市史編さん活動日誌から(47)

今年もお正月に、私は「明神さん」へ初詣に行った。「明神さん」というのは向日神社のこと、戦前から古い市民の人たちは、たいてい向日神社のことをそう呼んでいる。例年にもまして美しく清浄な娘さんをはじめ、多くの市民の人たちで社前は賑わっていた。向日神社が今も、この地域の中心的神社としての

## 向日神社と宮座 —その中世と現代—

佐々木高明 (国立民族学博物館教授)

殿の新築に当たったこと、等々が記されている。現在の向日神社の社殿は、そのときのものである。本殿は三間社流造(ながれづくり)の名作とされ、後に明治神宮が造営される時、その社殿のモデルになったことがよく知られている。

このように、初詣に集った市民の皆さんの前には、中世の歴史がいまも息づいているわけである。実は、それはかりではない。向日神社の祭祀組織の中には、中世に起源した宮座の伝統がいまもよく伝えられているのである。「宮座」というのは、氏子のなかの有力者が特権的に神事にあずかる組織といえるが、向日市ではネンドとよばれることが多い。神社の祭祀の際、御幣を奉ったり、祭礼の列に供奉するなど、主要な役割を演ずるのは、伝統的に、主として宮座の座衆たちであり、かつては祭礼の費用も多くを座衆が負担していた。現在でも、上植野には大政所(おおまんどころ)座、天の河座、鶏冠井座、賀賀丁(かやちよう)座など八つのネンド(宮座)があり、寺戸には本(ほん)座をはじめ、加茂(かもん)座、他家(たけ)座、端他家(はたけ)座その他、やはり八つのネンドが古くから存続している。寺戸の本座の場合には、最も古い氏子と考えられる旧家筋の三十四戸で構成され、ムコ養子を含め外来者を一切受け入れない排他性の強い社会集団をつくってきた。

座衆のなかで権威をもつのは、早く座に加入した上座のもので、「年寄」または「老人」とよばれる。また、輪番で一年間神役をつとめるものは「当座」というが、当座が交替する大切な儀式もネンドとよばれている。四月十五日のその日には、当座の家にネンドの全メンバーが集まり、神酒を汲み交し、伝統的な行事が古例にしたがって、いまも行われているのである。

中世以来の文化の伝承は、このような形で、向日市においても今日まで受け継がれてきているのである。そのことの意味を、私たちは、いま一度よく考えねばならないのではなからうか。

### 交通災害共済の加入受付開始

～1日1円で万一にそなえよう～

2月1日から昭和59年度分の交通事故災害共済の加入申込受付を開始します。万一の交通事故にそなえ、家族そろって加入しましょう。

この制度は、交通事故により加入者が負傷または死亡された場合に、災害の程度に応じて10,000円から最高120万円までの見舞金を支払うものです。

共済期間は、1年間(昭和59年4月1日～60年3月31日)です。手続は、掛金1人あたり330円(365円のうち35円は市が補助)を持って、市役所生活環境課安全係までお申込みください。

※お問い合わせ 生活環境課安全係(内線234)

### “犬は愛情をもって飼いましょう。”

2月は「犬害防止強化月間」です。市では、特にこの期間中、野犬や放し飼いの犬を麻酔銃や捕獲箱、毒エサなどを使って徹底的に捕獲します。ご協力ください。

■お願い■

- ▷飼犬は昼夜を問わず、必ずつないで飼ってください。
- ▷毒エサの置いてある場所は、立札で明示しますので、近寄らないでください。
- ▷犬を散歩させる時は、必ずスコップ・ビニール袋などを携帯し、フンなどはつつんで持ち帰りましょう。
- ▷野犬を見つけた時は市役所か保健所までご連絡を。

■お問い合わせ 生活環境課 内線227  
向陽保健所 電話933-1151